

能代山本のおもな文化財

檜山安東氏城館跡 (檜山城跡・大館跡・茶臼館跡)

[国指定史跡]

能代市



中世にこの地域を支配した檜山安東氏の居城跡です。標高145mの山頂から伸びる2本の尾根を中心に大小の曲輪、土橋、空堀などがよく残り、本丸からは能代市街が一望できます。

ニツ井町歴史資料館

ニツ井町



縄文時代晩期の麻生遺跡から見つかった国重要文化財の土面(レプリカ)や、加護山精錬所(江戸時代)、「八郎太郎伝説」などが紹介されています。

しとばし 志戸橋番楽

[県指定無形民俗文化財]

山本町

江戸時代初期に母体番楽が伝えられて始まったといわれています。8月13日から15日まで毎夜番楽宿で演じられます。

杉沢台遺跡

[国指定史跡]

能代市

能代市北東部に広がる東雲台地にある縄文時代前期の大規模な集落跡です。小判形で長軸が31mもある国内最大級の大型住居跡も見つかっています。



かやかりざわ

萱刈沢貝塚遺跡

[県指定史跡]

八竜町

鵜川台地にある縄文時代中期の貝塚です。貝塚からは、人骨や縄文人の生活をうかがい知ることができる骨角器(釣針)などがみつかっています。

かも ず 鴨 巣

一里塚

[県指定史跡]

能代市



慶長9(1604)年につくられた羽州街道の道しるべのひとつで、南の藩境から数えて47番目です。一里塚の原形が保たれている数少ない例です。

琴丘町歴史民俗資料館 「縄文の館」

琴丘町

高石野遺跡から見つかった土笛が展示されています。土笛は実際に吹いてみると「ド・ファ・ソ・ラ・シ」の音階が響き、縄文のマツリなどを想像させます。

みこしの滝浴び

八森町

毎年8月1日の白瀑神社の祭典でおこなわれるみこしの滝浴びは、勇壮な中にも涼気漂う夏の風物詩のひとつです。

長泉寺のしなのき

[村指定天然記念物]

峰浜村

天正元(1573)年に長泉寺が建立された時に植えられたと伝えられる、峰浜村を代表する古木です。「こぶとりじいさん」を彷彿させる大きな空洞があります。

白神山地

[世界自然遺産]

藤里町ほか



人の影響を受けない原生的なブナの天然林が世界最大規模で分布しています。世界遺産センター(藤里館)で様々な生態や自然環境を模型などで展示・解説しています。